
言葉の魔法

鈴夜 音猫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

言葉の魔法

【Nコード】

N3847L

【作者名】

鈴夜 音猫

【あらすじ】

今度は社会人同士の恋愛模様。
言葉は使い方次第です。

それではお楽しみくださいm(_____)m

「ごめん、じゃない言葉をください

遅れてくると、いつも息を切らしてるあなた。

「ごめん、待たせて」

ぜいぜいと荒い息を繰り返しながら、ネクタイを弛める仕草にドキッとするの。

でもそんなこと言ってやらない。

「うわっ、手冷た…どっか入ってればいいのに…」

春先とはいえまだ夜は冷えるから、私の手は冷たくて。

それに気付いたあなたはすぐに息を吹き掛けて温めてくれる。

「ホントごめ…」

言いかけたあなたの唇に人差し指を押し当てて。

ニッコリ笑うと、あなたは気付いたように目を細めた。

「待っていてくれてありがとう」

そう言って微笑むあなたが私は何より好きなの。

だから”ごめん”よりも”ありがとう”をください。

【End】

（後書き）

ここまで読んでいただき、ありがとうございます（*^^*）

今回のテーマは”ありがとう”でした。

ごめん、と謝られて悪い気はしませんが、何だか次がやりにくい気がして…

作者の意見としては「待つてくれてありがとうございます」と言っただけがお互い気持ち良いかと思えます。

笑顔で帰ろう！みたいな

謝るのも大事ですが、ずっと謝っていると信憑性なくなりますよね。
まあ、感謝の言葉も同じですが。

どちらもバランスよくほどほどに。ですね

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3847l/>

言葉の魔法

2011年1月27日08時02分発行